

タイトル	北海学園大学人文学会第8回大会シンポジウム記録 これまでの研究成果と展望
著者	
引用	北海学園大学人文論集(71): 1-3
発行日	2021-08-31

## これまでの研究成果と展望

### 講演 1

「歴史災害研究への人文地理学からのアプローチ」

谷端 郷（北海学園大学人文学部日本文化学科 講師）

### 講演 2

「平仮名の歴史における明治時代」

岡田 一祐（北海学園大学人文学部日本文化学科 講師）

### 司会

柴田 崇（北海学園大学人文学部英米文化学科 教授）

日時 2020年12月10日（木曜日） 14：30～17：00

会場 北海学園大学 豊平キャンパス AV4教室

主催 北海学園大学人文学会

## 開会の挨拶

---

○**司会** それでは、定刻になりましたので第8回人文学会大会を開催いたします。

今年度の学会では順次、新任の先生方にこれまでの研究成果と展望についてお話をいただくという企画を立てました。今回2名、岡田先生と谷端先生に御登壇いただいて、それぞれの研究の成果と展望をお話いただきます。

今日のスケジュール簡単に御説明しますと、この後会長から御挨拶をいただきます。14時35分から谷端先生の御発表45分、質疑15分を加えまして、一旦休憩を取ります。そして15時45分から岡田先生のご発表、終了は16時45分の予定です。

ちなみに本日19時半から22時までの時間帯にオンラインでの会の継続ですね、オフ会というのもございますので是非、入退出自由ですから御都合のつく時間にどうぞ御参加ください。

それでは大森会長から一言お願いします。

○**大森氏** 会長として一言御挨拶申し上げます。

今年こういう形で大会を開催することができましたこと、非常に嬉しく思っています。企画運営をしてくださった若い委員の先生方に心よりお礼を申し上げたいと思います。

谷端先生、岡田先生の御発表、非常に楽しみにしておりまして、大学で研究会をやるのは当たり前といえば当たり前なのですが、どうもそれ以外の仕事に忙殺されている状況で、昨日は実は午後1時から5時半までずっと会議でして、後半2時半から5時半まではここに3時間ずっと座っていて、もう何かだんだん叫びたくなってくるような気持ちでおりましたので、今日は大変いい気分でごここに座っていただけるだろうなと思っております。柴田先生からも御案内ありましたように、終わった後19時半から22時の予定でオンラインでの懇親会が予定されているようです。今年着任された

4人の先生方には、大学や学部のことも十分お伝えできないような形で、授業だけではなくて、委員会の仕事などもお願いしてまいりましたので、大変心苦しい思いでしたが、少しでも交流を深めていただければと思っております。

本日はよろしく願いいたします。

○司会 では、谷端先生、御用意をお願いいたします。